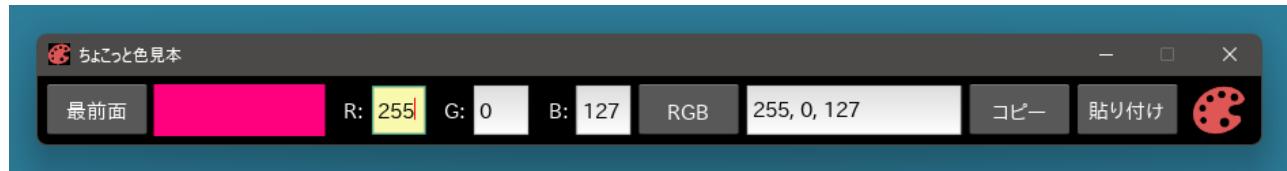


「ちょこっと色見本」の インストール手順と使用方法

「ちょこっと色見本」（以下、”本アプリ”）は、PC / Mac のディスプレイ画面の隅っこに “ちょこっと” 置いて使える色見本アプリです。



“RGB”（赤・緑・青）の値を操作して目的の色を作り、その色を様々な種類の “カラーコード” で出力することができます。

本アプリが対応している “カラーフォーマット”（カラーコードの種類）は以下のとおりです。

- 16 進数カラーコード
- RGB コード
- 正規化された RGB コード
- HLS (HSL・HSI) コード
- 正規化された HLS コード
- HSV (HSB) コード
- 正規化された HSV コード
- Web ブラウザーに登録されている 140 の色名

別のアプリに記述されているカラーコードを本アプリにコピーして、他の種類のカラーコードに変換することができます。

本アプリには、Windows 版と macOS 版があります。

本アプリのインストール手順と使用方法を解説します。

デモとサンプルの展示室

~ Demo & Sample Showroom ~



<https://wpandora8.net/>

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| ◆Windows 版アプリのインストール手順 | 4 |
| ◆Windows 版アプリの削除手順 | 11 |
| ◆Windows 版アプリの起動手順 | 12 |
| ◆macOS 版アプリをインストールする前に（その 1） | 15 |
| ◆macOS 版アプリをインストールする前に（その 2） | 17 |
| ◆macOS 版アプリのインストール手順 | 19 |
| ◆macOS 版アプリの削除手順 | 30 |
| ◆macOS 版アプリの起動手順 | 31 |
| ◆メイン画面各部の解説 | 32 |
| ◆「最前面」ボタンについて | 33 |
| ◆アプリの“アクティブ”状態について | 34 |
| ◆RGB 値の入力ボックスについて | 35 |
| ◆「カラーフォーマットの切り替え」ボタンについて | 36 |
| ◆「コピー」ボタンについて | 37 |
| ◆「貼り付け」ボタンについて | 37 |
| ◆カラーコードを直接入力・修正する | 39 |
| ◆「ちょこっと色見本」のライセンスについて | 41 |

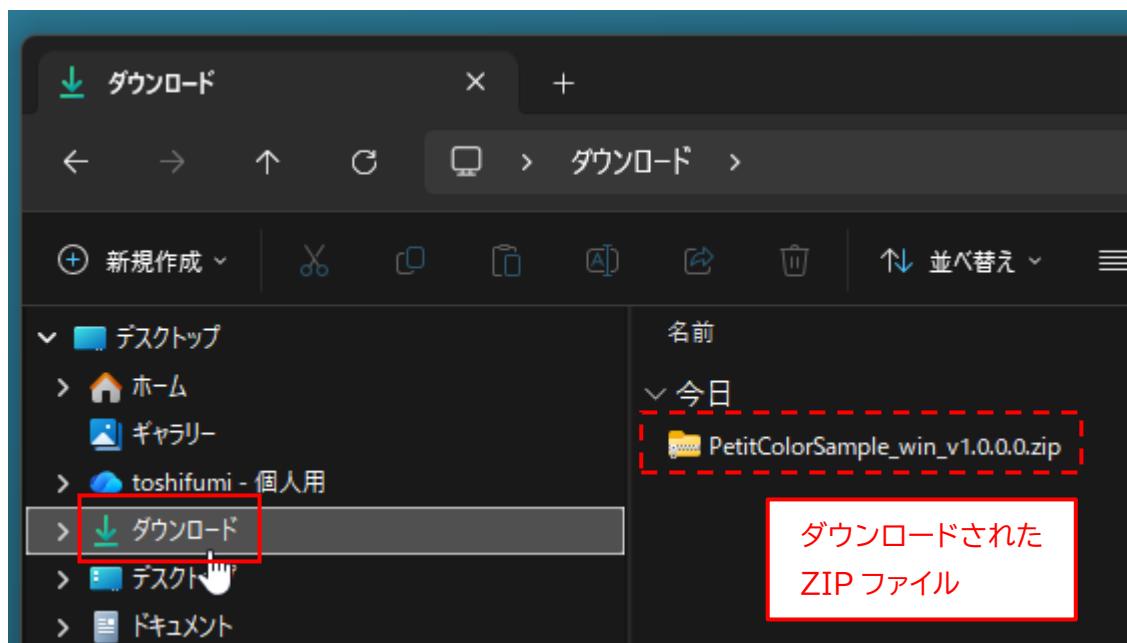
◆Windows 版アプリのインストール手順

インストールといっても、ダウンロードした ZIP ファイルを適当なフォルダに展開するだけです。

「ちょこっと色見本」(以下、"本アプリ")は、Python (パイソン) というプログラミング言語で開発されていますが、単体で動作しますので、別途 Python の動作環境等をインストールする必要はありません。

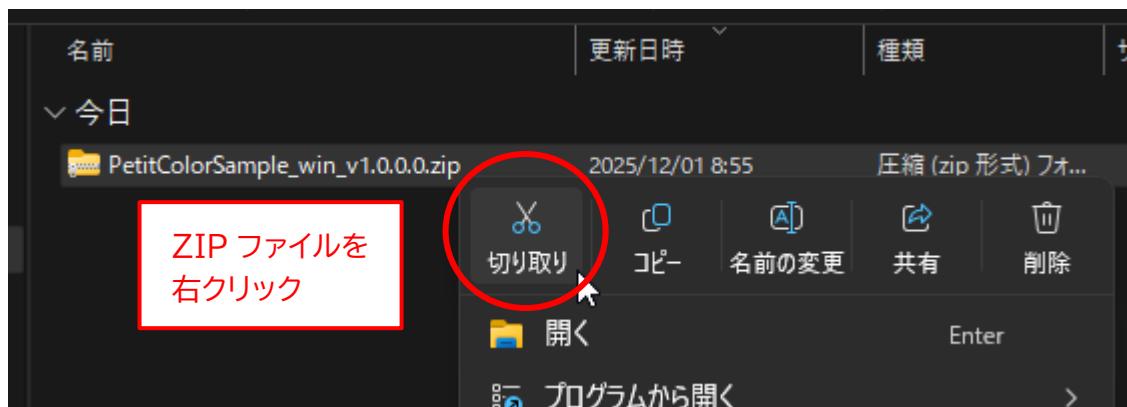
1. 本アプリの ZIP ファイルをダウンロードしてください。

ダウンロードが完了したら、エクスプローラーを起動し、"PetitColorSample_win_v1.0.0.0.zip" がダウンロードされたフォルダ（通常は「ダウンロード」）を開きます。

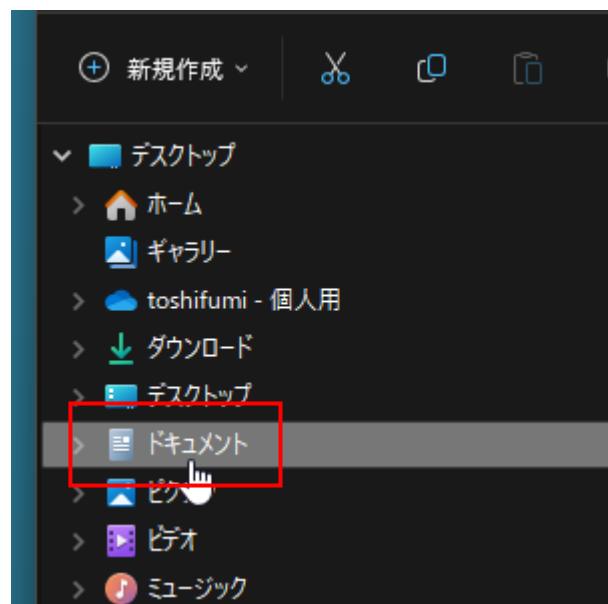


※ 上図の "v1.0.0.0" の部分はバージョン番号です。今後、変更になる場合があります。

2. “PetitColorSample_win_v1.0.0.0.zip” ファイルを右クリックして、「切り取り」アイコンをクリックします。

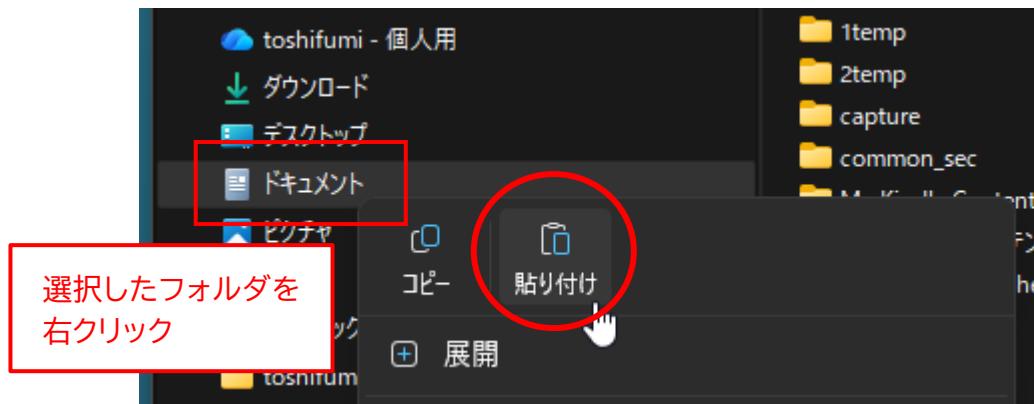


3. 本アプリをインストールするフォルダを選択します。
ここでは例として、「ドキュメント」フォルダを選択します。

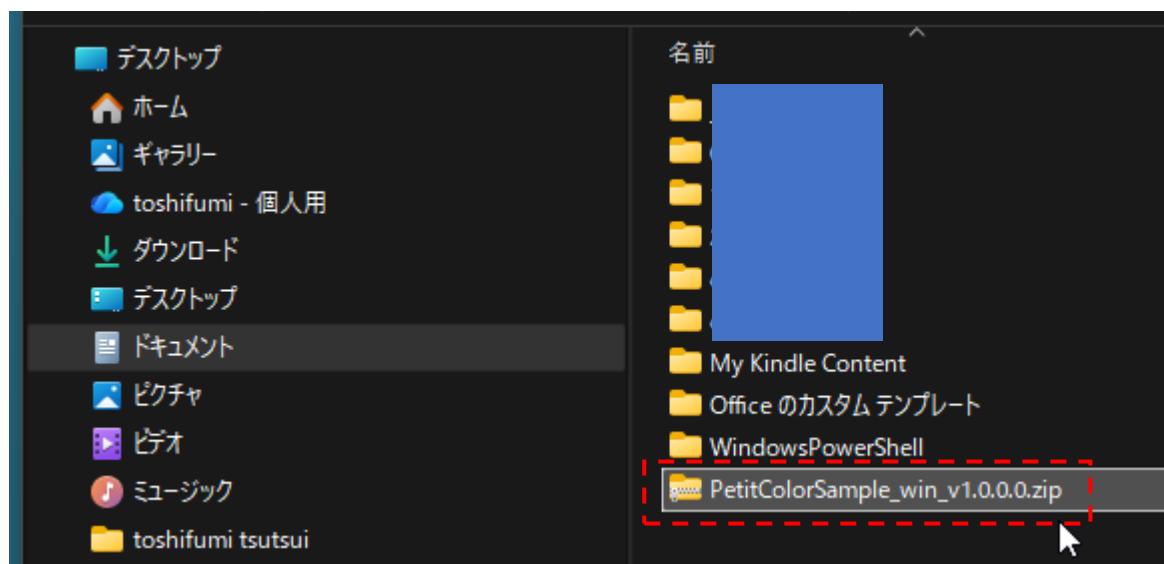


- ※ 本アプリをインストールするフォルダは、「ドキュメント」以外のフォルダでもかまいません。
- USB メモリ等の外部のストレージでもかまいません。
- ※ インストールしたアプリは、後から別のフォルダに移動することもできます。

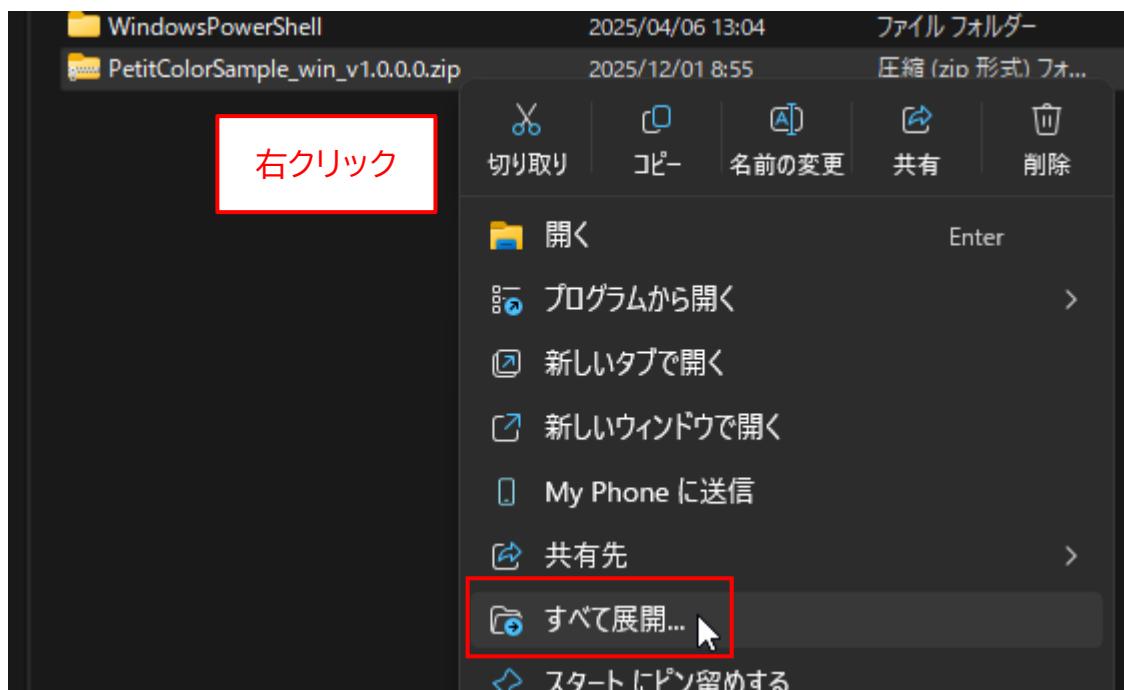
4. 前の手順で選択したフォルダを右クリックして、「貼り付け」アイコンをクリックします。



5. 選択したフォルダに “PetitColorSample_win_v1.0.0.0.zip” ファイルがコピーされます。



6. コピーされた ZIP ファイルを右クリックして、メニューから「すべて展開...」を選択します。

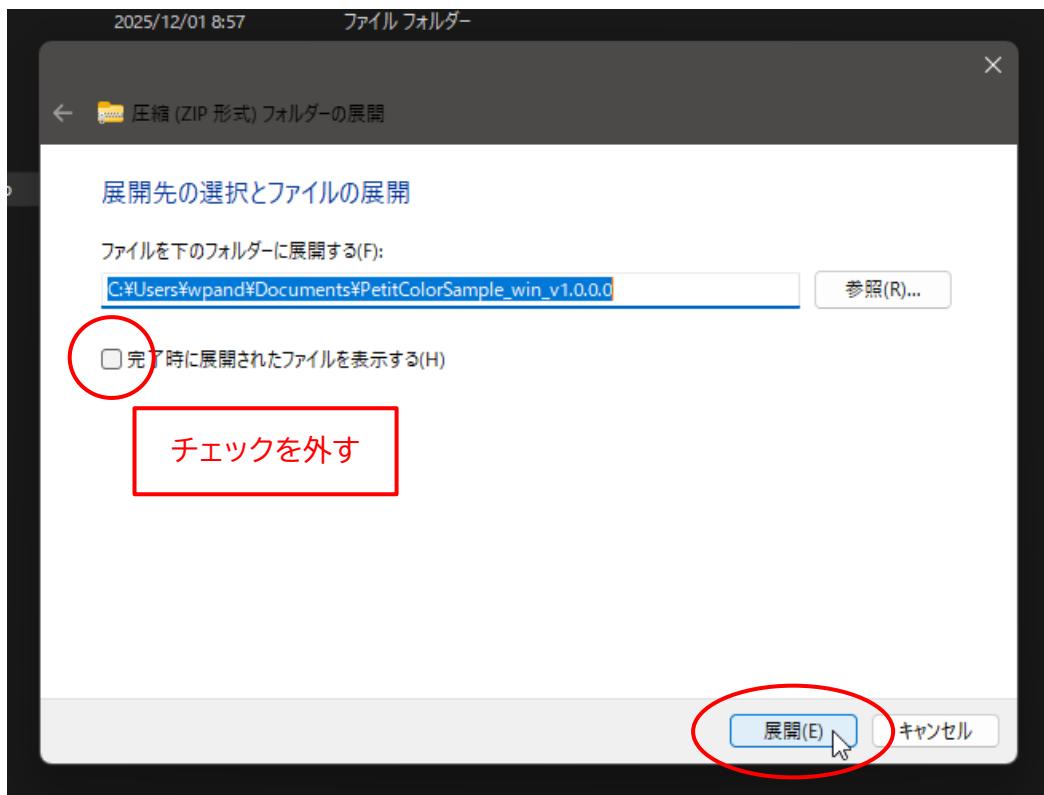


※ 上図は、Windows11 の標準的な画面です。

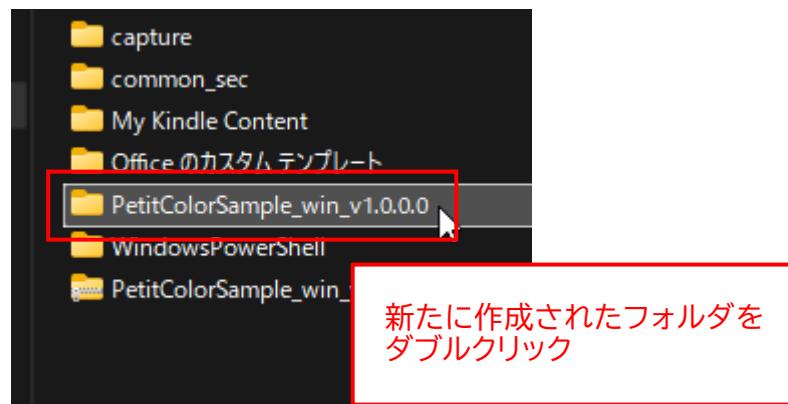
メニューに「すべて展開...」が表示されない場合は、別途「書庫ファイルの解凍アプリ」がインストールされている可能性があります。

その場合は、PC の管理者の方にお問い合わせください。

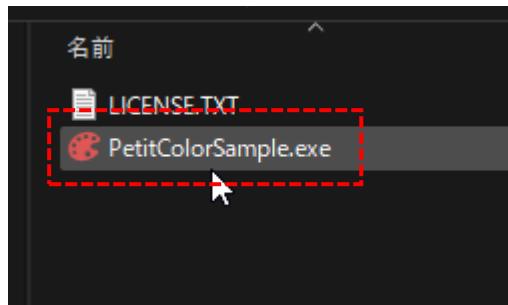
7. 下図のボックスが表示されたら、”完了時に展開されたファイルを表示する(H)” のチェックを外して、
「展開(E)」ボタンをクリックします。



8. 新たに “PetitColorSample_win_v1.0.0.0” というフォルダが作成されるので、これをダブルクリックして開きます。

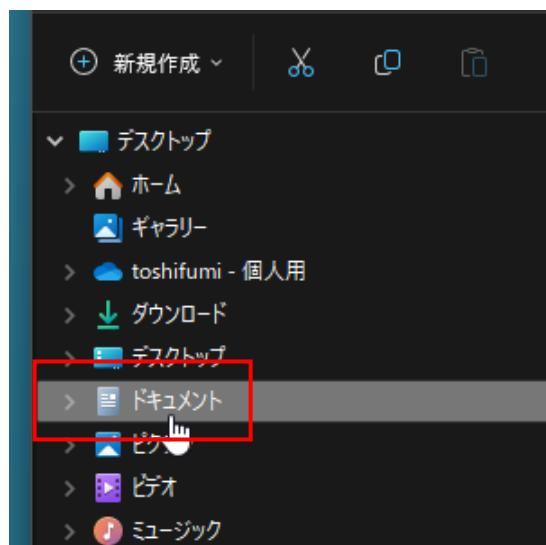


9. 開いたフォルダ内に “PetitColorSample.exe”（本アプリの実行ファイル）が存在することを確認してください。

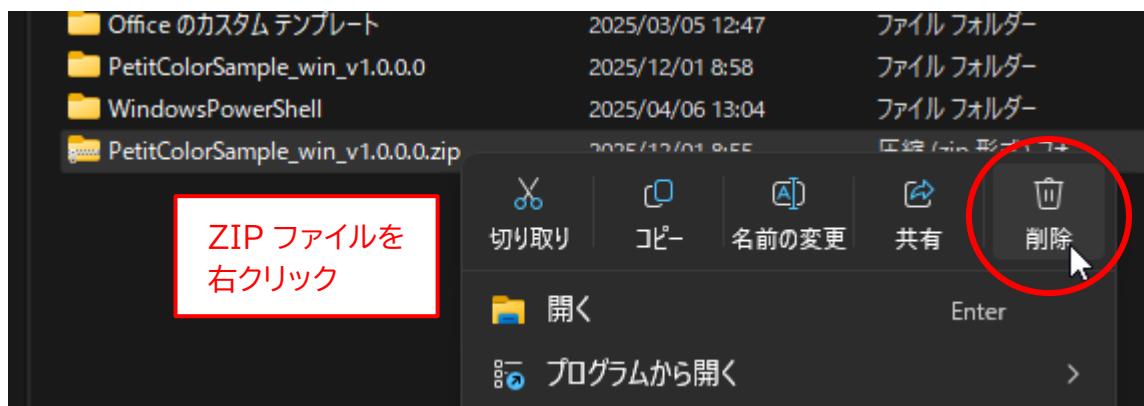


※ “PetitColorSample.exe” の末尾の “.exe” は、表示されない場合があります。

10. 再び、本アプリをインストールしたフォルダ（ここでは「ドキュメント」）を開きます。



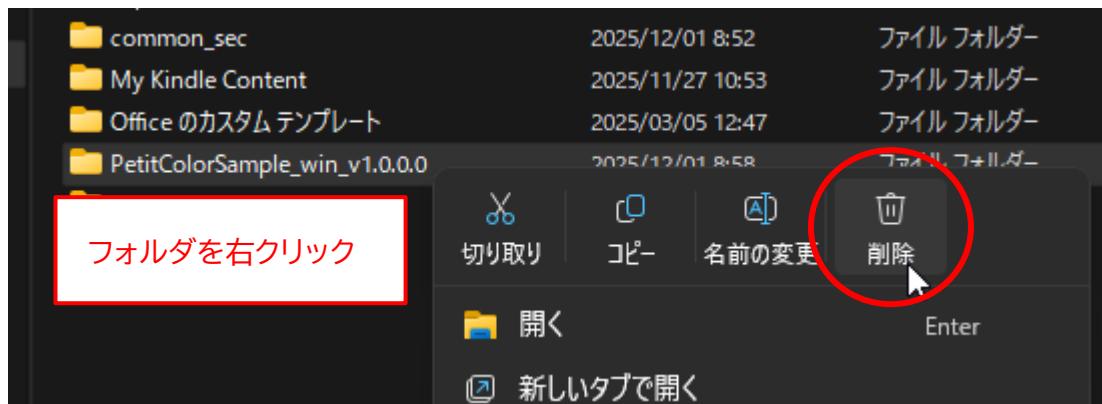
11. 6 ページの手順 5 でコピーされた “PetitColorSample_win_v1.0.0.0.zip” ファイルはもう不要なので、右クリックして「削除」アイコンをクリックします。



以上で、Windows 版アプリのインストール作業は完了です。

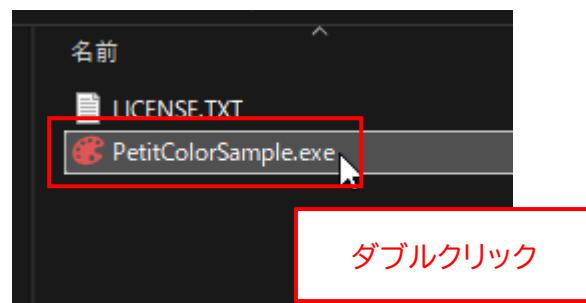
◆Windows 版アプリの削除手順

本アプリが必要なくなった場合は、8 ページの手順 8 で展開した "PetitColorSample_win_v1.0.0.0" フォルダをまるごと削除してください。それ以外の作業は必要ありません。



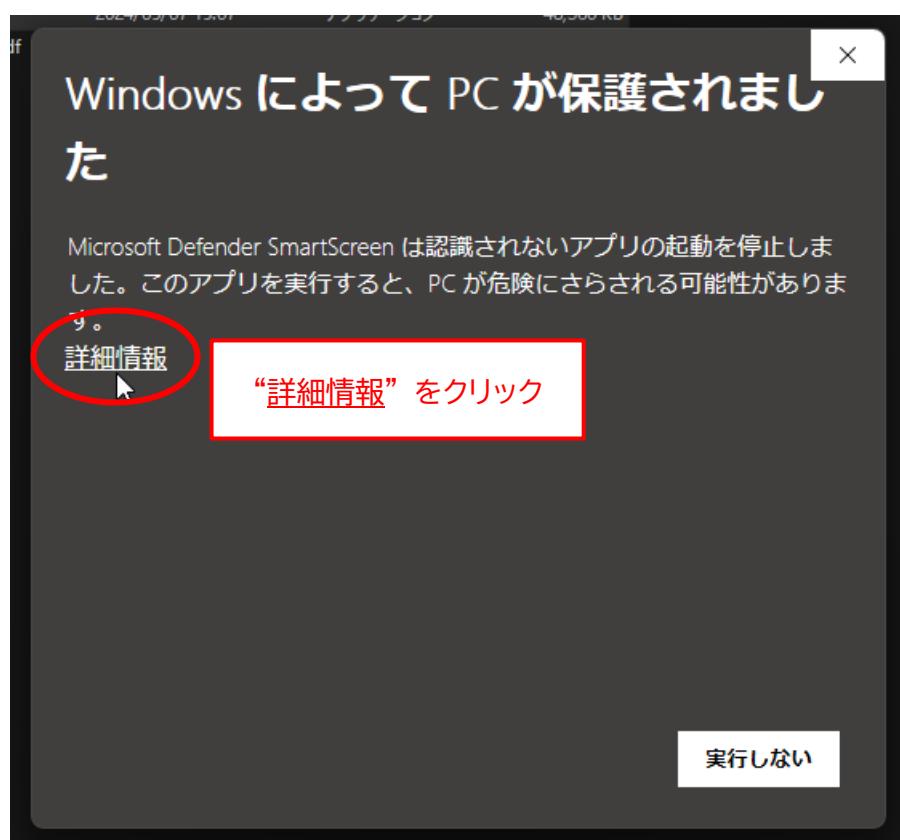
◆Windows 版アプリの起動手順

- エクスプローラーを起動して、9 ページの手順 9 で確認した “PetitColorSample_win_v1.0.0.0” フォルダ内の “PetitColorSample.exe” ファイルをダブルクリックします。



※ “PetitColorSample.exe” の末尾の “.exe” は、表示されない場合があります。

- 以下のメッセージが表示されたら、“詳細情報” をクリックします。



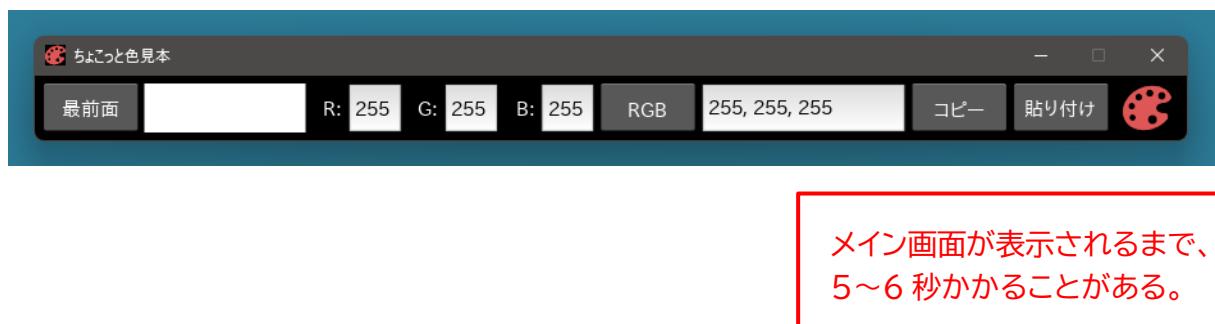
3. “PetitColorSample.exe”は危険ではないので、「実行」ボタンをクリックしてください。



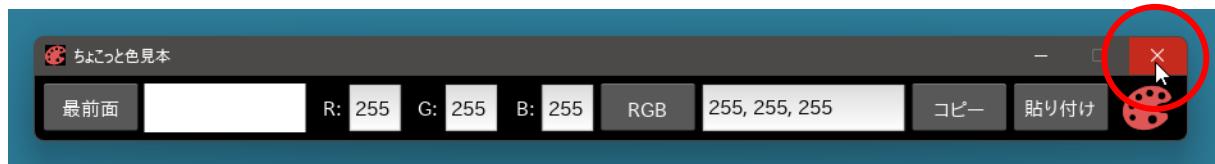
※ 上図のメッセージは、最初に起動したときにだけ表示されます。次回からは表示されません。

4. 本アプリのメイン画面が表示されます。

メイン画面が表示されるまで 5~6 秒かかることがあるので、ご注意ください。



5. 本アプリを終了するときは、右上の「×」ボタンをクリックします。

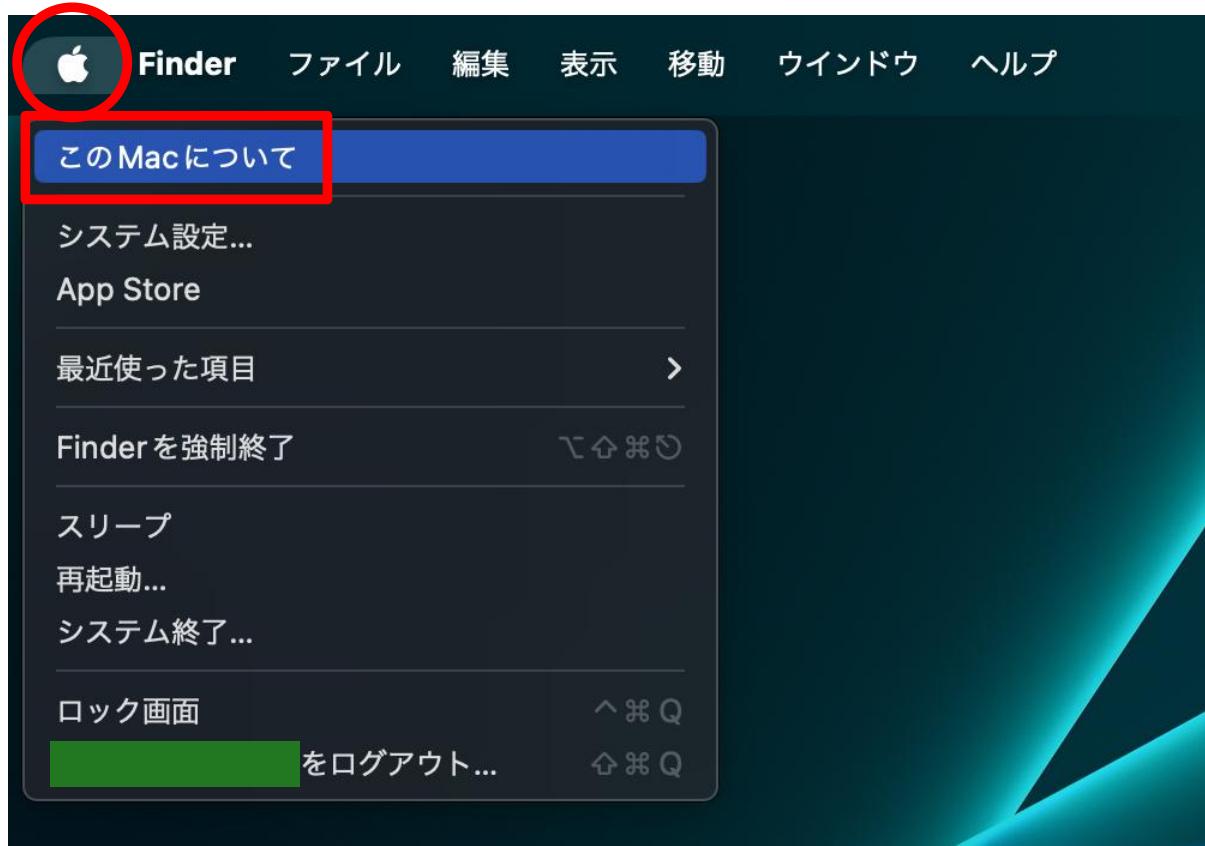


以上が、本アプリの起動手順です。

◆macOS 版アプリをインストールする前に（その1）

「ちょこっと色見本」（以下、”本アプリ”）の macOS 版は、”Apple シリコン” 搭載機でのみ動作します。
“Intel プロセッサ” 搭載機では動作しませんので、以下の手順で必ずご確認ください。

1. 画面左上の「りんごアイコン」→「この Mac について」の順にクリックします。



2. 以下の画面で、「チップ」が Apple 製であることを確認してください。
「プロセッサ Intel ~」と表示される Mac では、本アプリは動作しません。

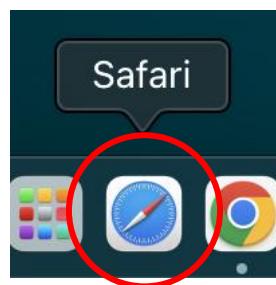


◆macOS 版アプリをインストールする前に（その 2）

ご利用のウェブブラウザが Mac 標準の “Safari” の場合は、他のウェブブラウザとインストールの手順を統一するために、本アプリの ZIP ファイルをダウンロードする前に設定を変更しておきます。

なお、Safari 以外のウェブブラウザをご利用の場合は、この作業は必要ありません。[19 ページ](#)の手順に進んでください。

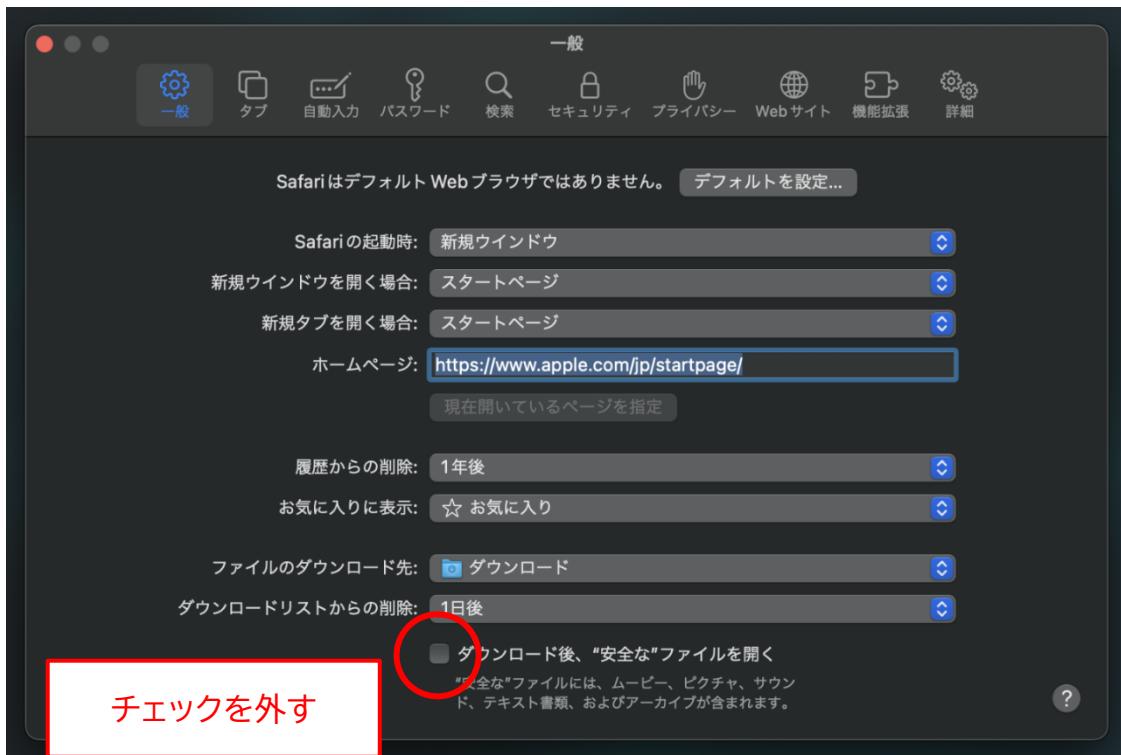
1. “Safari” を起動します。



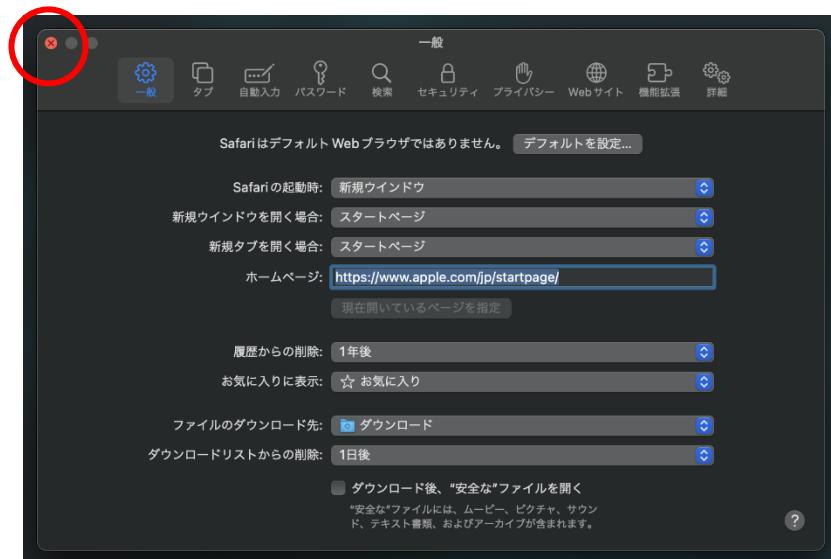
2. 画面左上の「Safari」メニューをクリックして、「設定...」を選択します。



3. 設定画面下部の「ダウンロード後、”安全な”ファイルを開く」のチェックを外します。



4. 左上の「×」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。



以上で、Safari の設定変更作業は完了です。

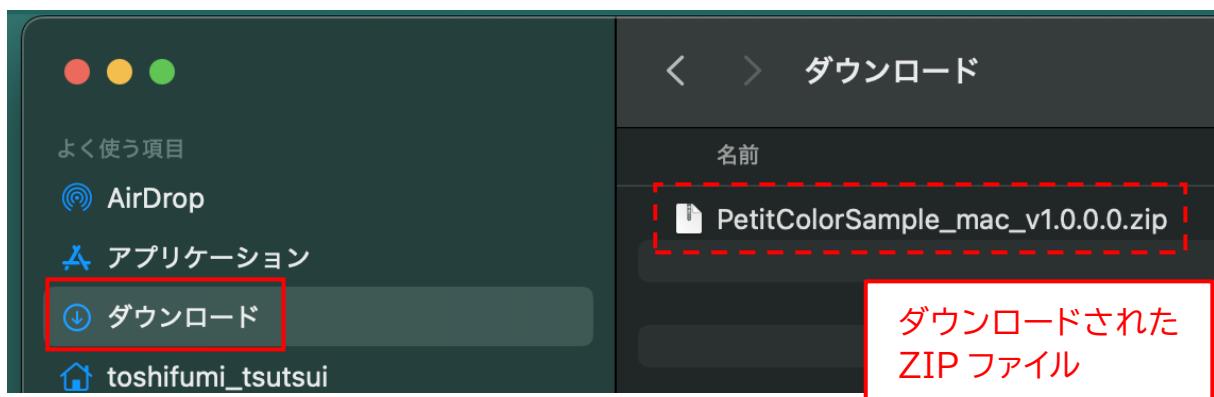
◆macOS 版アプリのインストール手順

ご利用の Mac に本アプリをインストールします。

本アプリは Python (パイソン) というプログラミング言語で開発されていますが、単体で動作しますので、別途 Python の動作環境等をインストールする必要はありません。

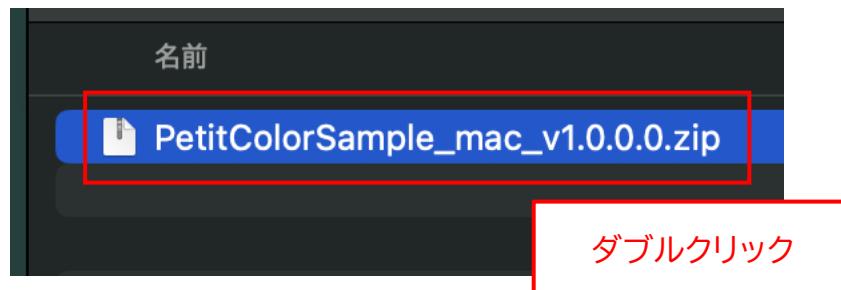
1. 本アプリの ZIP ファイルをダウンロードしてください。

ダウンロードが完了したら Finder を起動し、ファイルをダウンロードしたフォルダ（通常は”ダウンロード”）を開き、“PetitColorSample_mac_v1.0.0.0.zip” ファイルが存在することを確認してください。



※ 上図の “v1.0.0.0” の部分はバージョン番号です。今後、変更になる場合があります。

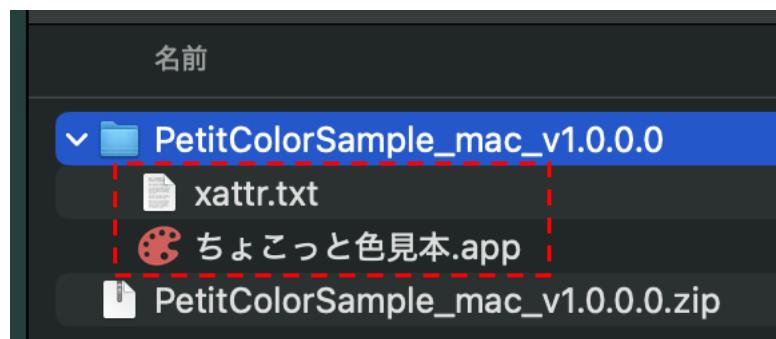
2. “PetitColorSample_mac_v1.0.0.0.zip” ファイルをダブルクリックします。



3. しばらくすると、新たに “PetitColorSample_mac_v1.0.0.0” というフォルダが作成されるので、その左の “>” の部分をクリックします。

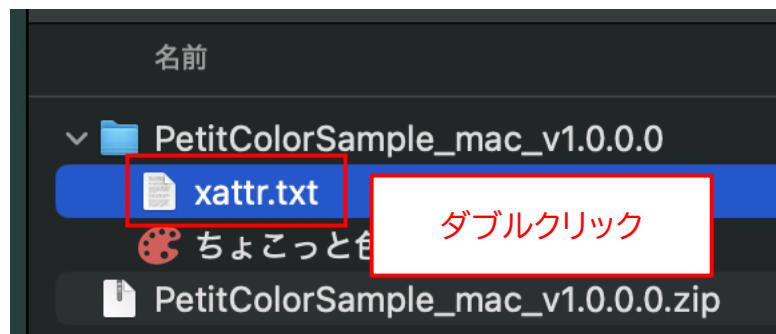


4. フォルダ内に以下の 2 個のファイルが存在することを確認してください。

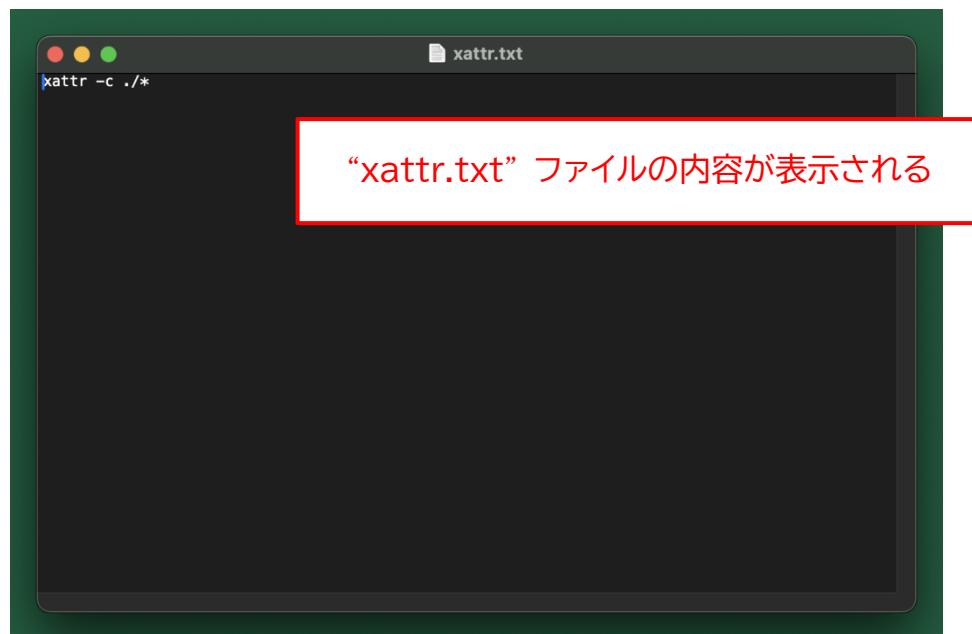


※ “ちょこっと色見本.app” の末尾の “.app” は表示されない場合があります。

5. macOS 上でインターネットからダウンロードされたファイルには “拡張属性” が設定されており、そのままでは実行できないので、以下の手順で拡張属性を解除します。
まず、“xattr.txt” ファイルをダブルクリックします。



6. 「テキストエディット」が起動して、"xattr.txt" ファイルの内容が表示されます。



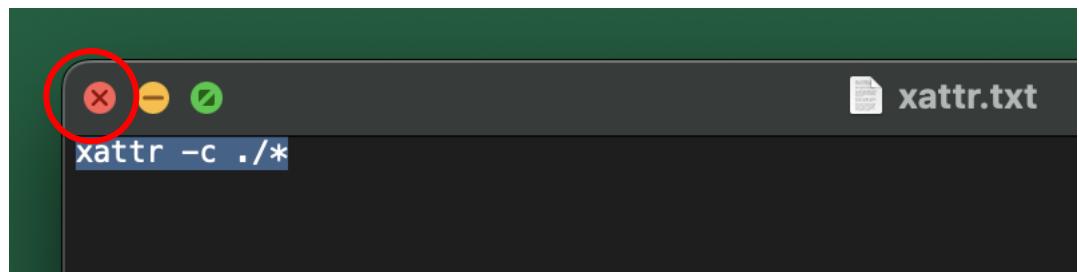
7. 画面左上のメニューから「編集」→「すべてを選択」の順に選択します。



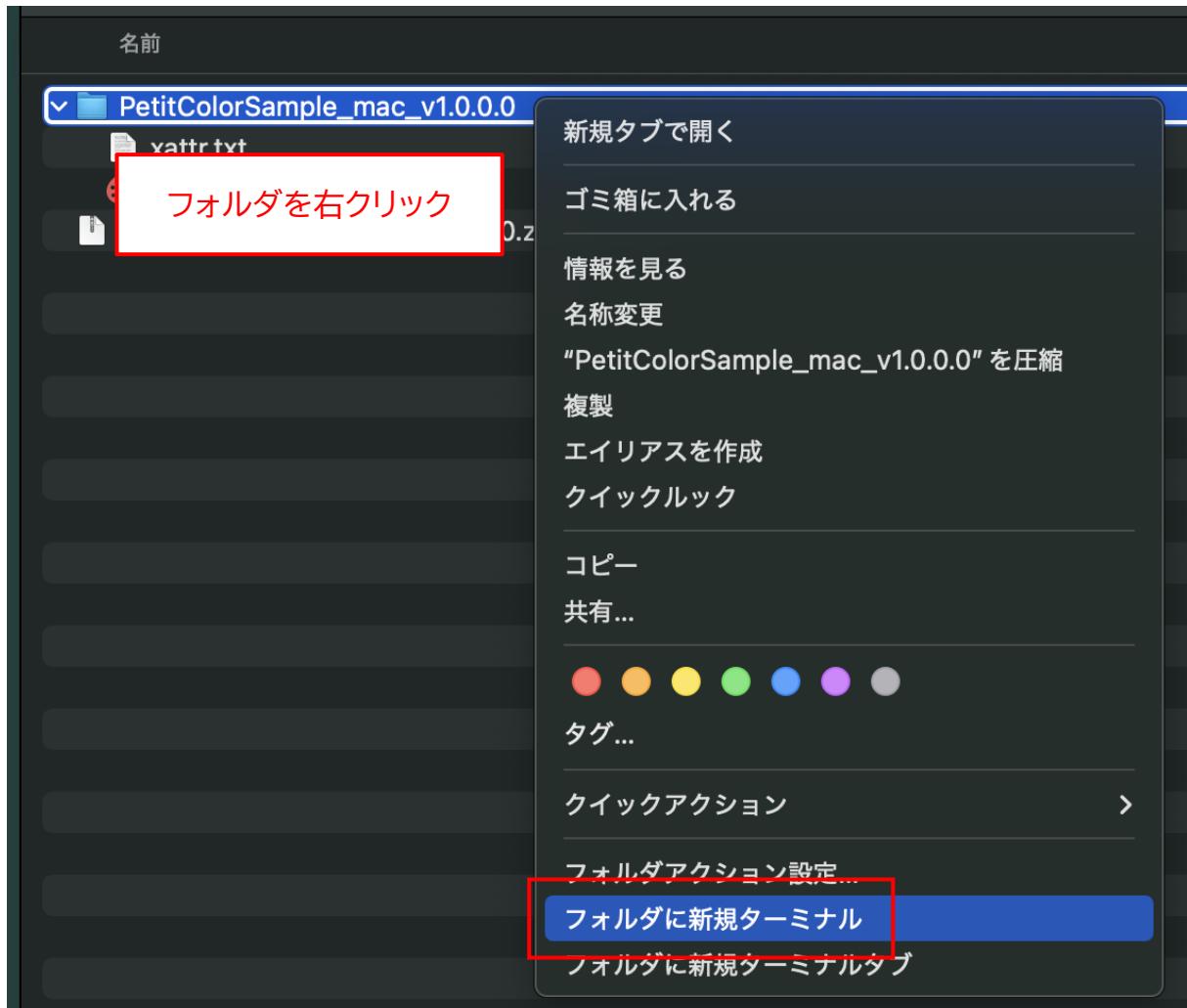
8. 続けて、メニューから「編集」→「コピー」の順に選択します。



9. 左上の「×」ボタンをクリックして、テキストエディットを閉じます。

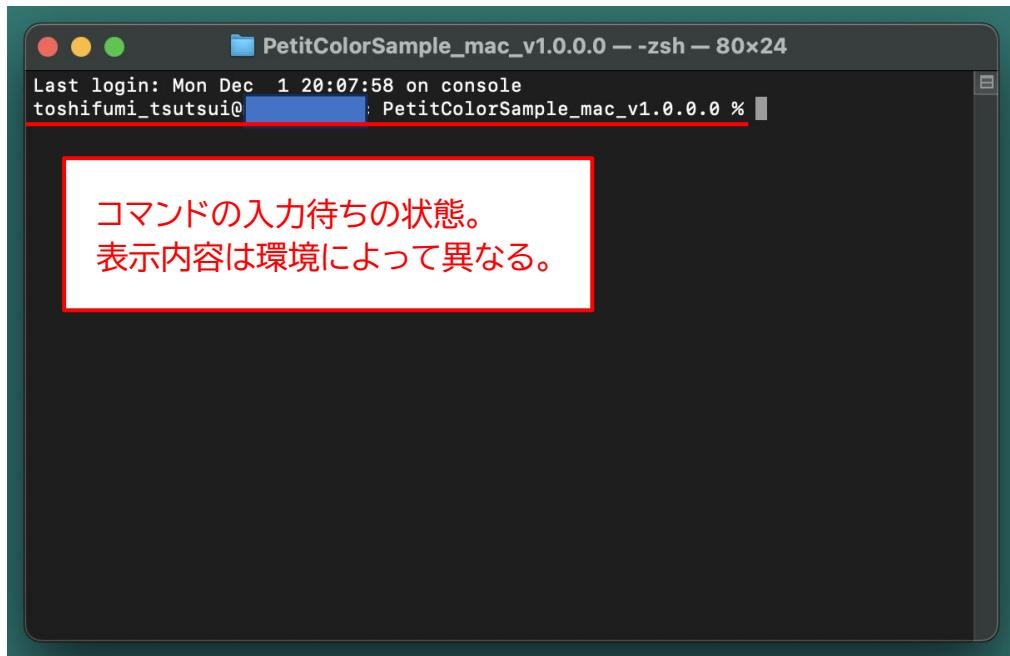


10. Finder に戻り、“PetitColorSample_mac_v1.0.0.0” フォルダを右クリックして、メニューから「フォルダに新規ターミナル」を選択します。

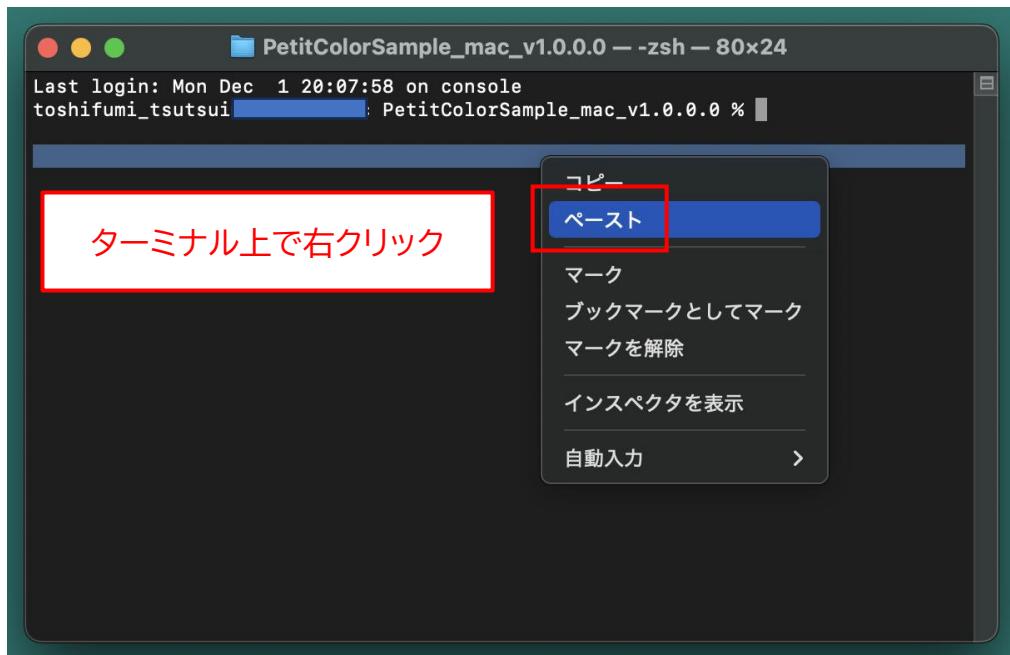


11. 「ターミナル」が起動します。

2行目のように “[ユーザー名]@[コンピュータ名] [フォルダ名] %” と表示されていれば、コマンドの入力待ちの状態です。

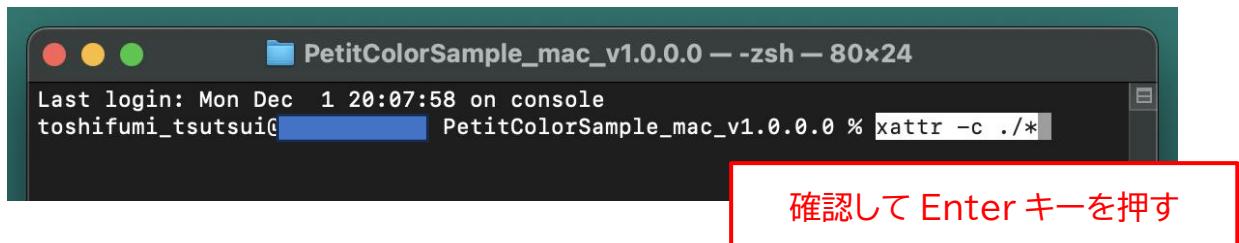


12. どこでもよいのでターミナル上で右クリックして、メニューから「ペースト」を選択します。



13. 手順 8 でコピーした "xattr -c ./*" が貼り付けられます。

間違いなく貼り付けられていることを確認して、Enter キーを押します。



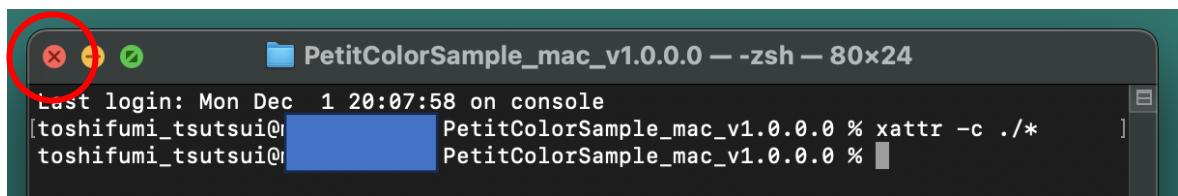
```
Last login: Mon Dec  1 20:07:58 on console
toshifumi_tsutsui@ [REDACTED] PetitColorSample_mac_v1.0.0.0 % xattr -c ./*
```

14. エラーが表示されず、すぐに入力待ちの状態に戻れば、拡張属性の解除処理は完了です。

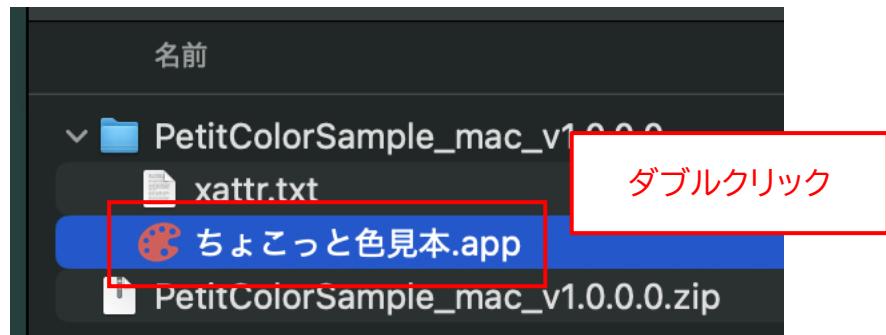


```
Last login: Mon Dec  1 20:07:58 on console
[toshifumi_tsutsui@ [REDACTED] PetitColorSample_mac_v1.0.0.0 % xattr -c ./* ]
```

15. 左上の「×」ボタンをクリックして、ターミナルを閉じます。



16. Finder に戻り、“ちょこっと色見本.app” ファイルをダブルクリックします。



※ “ちょこっと色見本.app” の末尾の “.app” は表示されない場合があります。

17. 本アプリのメイン画面が表示されます。

メイン画面が表示されるまで数秒かかることがあるので、ご注意ください。



※ メイン画面が表示されない場合は、次のページをご覧ください。

- ※ もし、下図のようなメッセージが表示された場合は、拡張属性の解除ができていません。
「完了」をクリックして、20 ページの手順 5 からやり直してください。
- ※ メッセージの内容は、以下とは異なる場合があります。「キャンセル」ボタンがある場合は、そちらをクリックしてください。

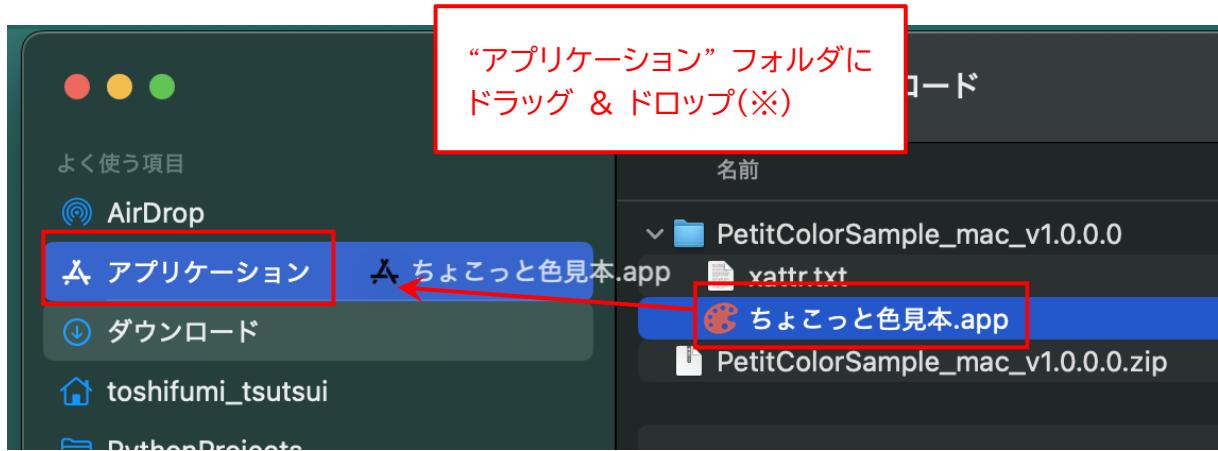


- ※ macOS のバージョンが古い場合も、上図のようなメッセージが表示される場合があります。
拡張属性の解除作業をやり直しても同じメッセージが表示される場合は、macOS を最新版にアップデ
ートしてください。

18. 左上の「×」ボタンをクリックして、アプリを閉じます。



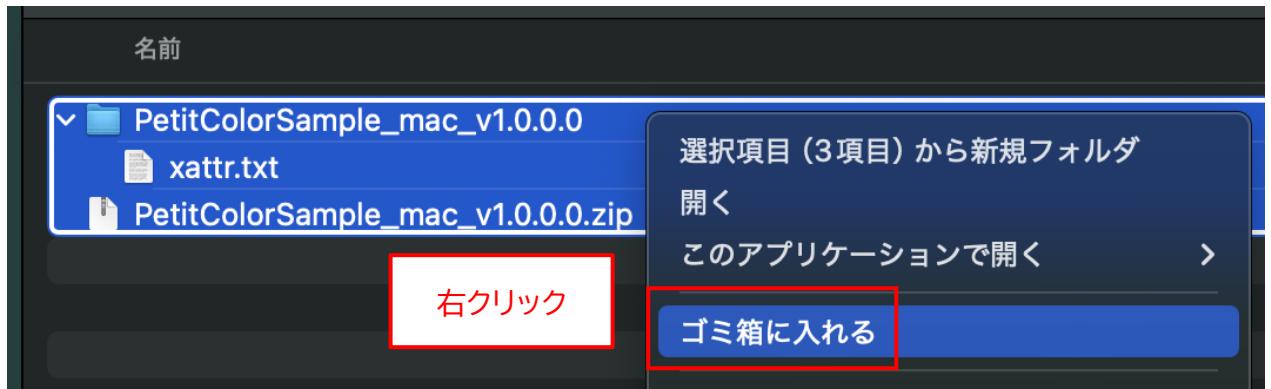
19. Finder に戻り、“ちょこっと色見本.app” ファイルを “アプリケーション” フォルダにドラッグ & ドロップ (※) します。



※ ドラッグ & ドロップ：“ちょこっと色見本.app” ファイルの上でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動して、“アプリケーション” フォルダの上でマウスのボタンを離す操作。

※ “ちょこっと色見本.app” の末尾の “.app” は表示されない場合があります。

20. “PetitColorSample_mac_v1.0.0.0” フォルダと “PetitColorSample_mac_v1.0.0.0.zip” ファイルはもう不要なので、それぞれ右クリックして「ゴミ箱に入れる」を選択します。

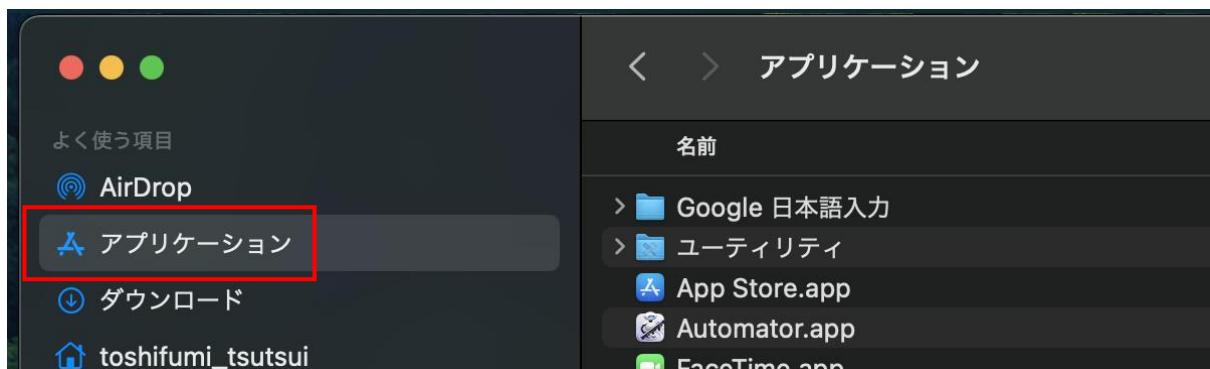


以上で、macOS 版アプリのインストール作業は完了です。

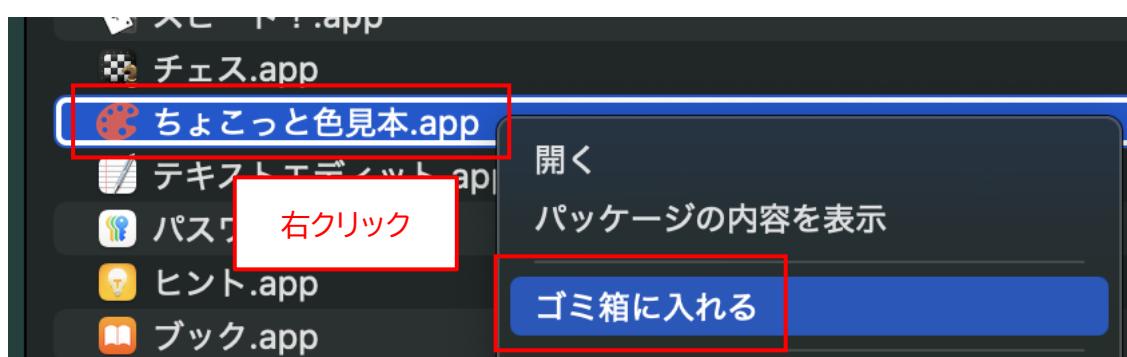
◆macOS 版アプリの削除手順

本アプリが不要になった場合は、以下の手順で削除作業を行ってください。

1. Finder を起動して、“アプリケーション” フォルダを開きます。



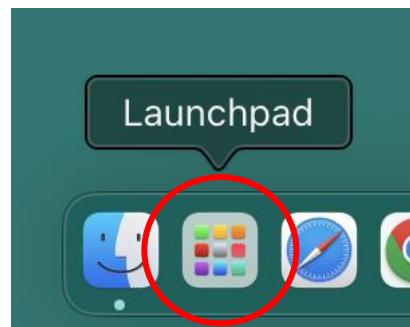
2. “ちょこっと色見本.app” ファイルを右クリックして、「ゴミ箱に入れる」を選択します。



※ “ちょこっと色見本.app” の末尾の “.app” は表示されない場合があります。

◆macOS 版アプリの起動手順

1. “Launchpad”を開きます。



2. “ちよこっと色見本”のアイコンをクリックします。



以上が、本アプリの起動手順です。

◆メイン画面各部の解説



カラーフォーマット

コンピューターで扱う色の表現方法は複数の種類があり、それぞれの表現方法を“カラーフォーマット”と呼びます。

本アプリでは、16進数表記、“RGB”、“HLS”、“HSV”、Web ブラウザーに登録されている色名、そして RGB/HLS/HSV の“正規化された値の表記”を扱うことができます。

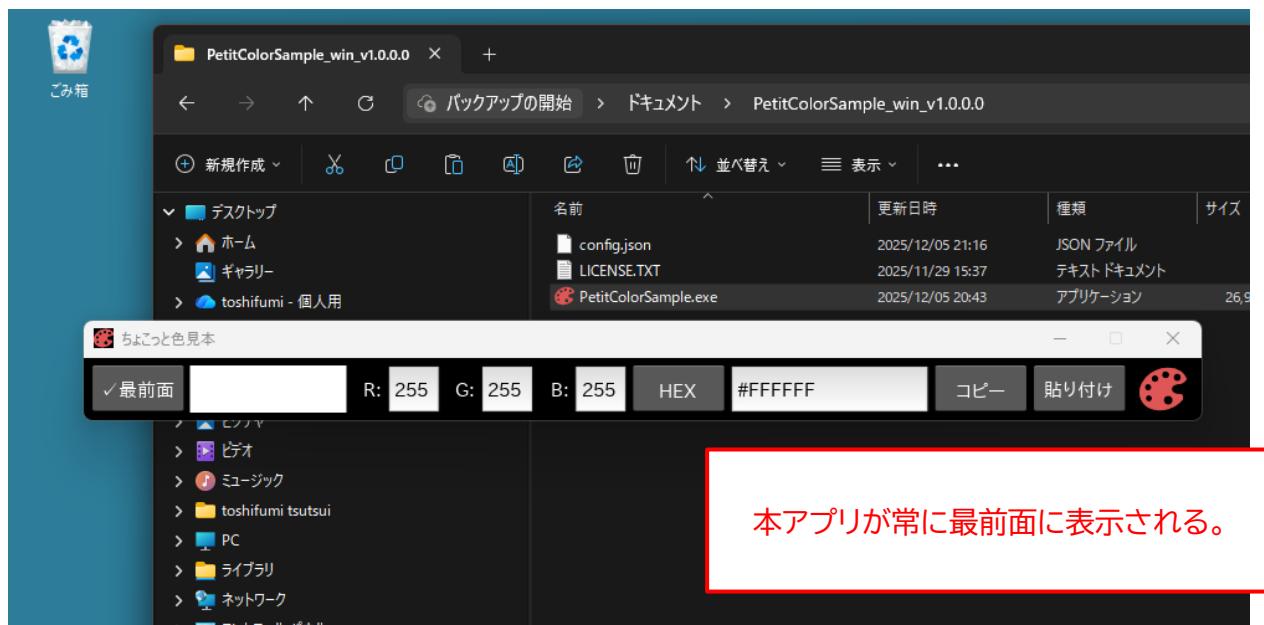
カラーコード

それぞれのカラーフォーマットにより決められている、色を表現するための値です。カラーフォーマットにより記述が異なります。

◆「最前面」ボタンについて

「最前面」ボタンをクリックすると、ボタンにチェック印がつき、本アプリが常に最前面（他のアプリよりも上）に表示されます。

もう一度クリックすれば解除されます。



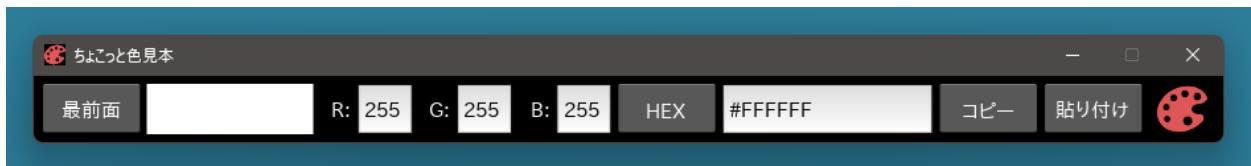
◆アプリの“アクティブ”状態について

本アプリが最前面に表示されていても、”アクティブ”な状態になつていないと操作を受け付けません。

“アクティブ”な状態とは、アプリが“操作対象になつてゐる”状態のことです。

アプリがアクティブになつていない場合は、どこでもよいので、アプリのウィンドウを1回クリックすれば、アクティブな状態になります。

アプリがアクティブな状態（マウスの操作を受け付ける）

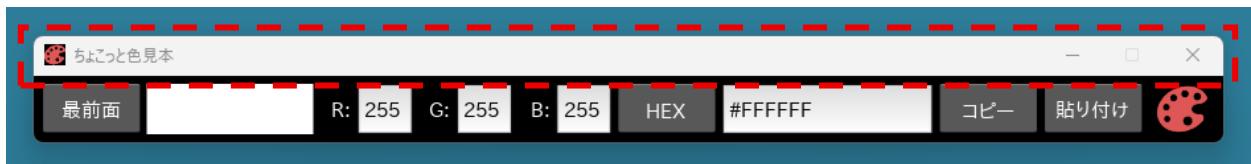


Windows の場合(ダークモード)



Mac の場合(ダークモード)

アプリがアクティブでない状態（マウスの操作を受け付けない）



Windows の場合は、タイトルバーが淡い色になる(ダークモード)



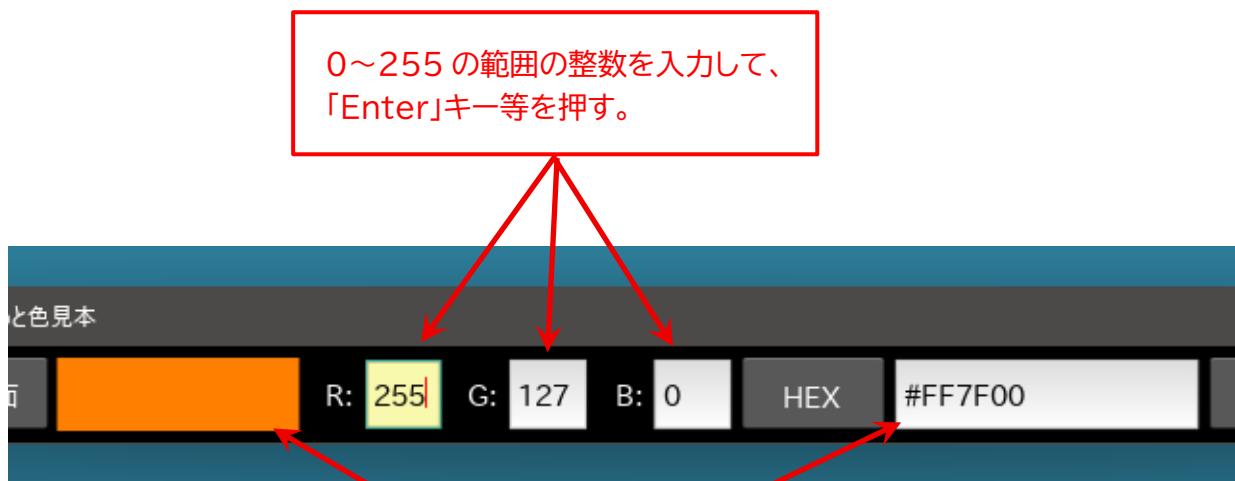
Mac の場合は、タイトルバーの表示が暗くなる(ダークモード)

◆RGB 値の入力ボックスについて

RGB 値の各入力ボックスには、0 ~ 255 の範囲の整数を入力してください。

入力した値を確定させるには、「Enter」 / 「Tab」 / 「Shift + Tab」 のいずれかのキーを押すか、マウスで他の入力ボックスをクリックします。

いずれかの入力ボックスの値を確定させるたびに、作成された色のサンプル表示と、カラーコードの表示が変化します。



不正な値を入力すると、背景が赤く表示されるので、正しい値を再度入力してください。



◆「カラーフォーマットの切り替え」ボタンについて

「カラーフォーマットの切り替え」ボタンをクリックすることにより、「カラーコードを表示・入力するボックス」に表示されるカラーコードが切り替えられます。

表示されるカラーコードは、現在 R/G/B の入力ボックスに入力されている RGB 値を、それぞれのカラーフォーマットで表記したものです。

具体的には、切り替えボタンをクリックするたびに、“RGB” → “RGB Normal” → “HLS” → “HLS Normal” → “HSV” → “HSV Normal” → “Name” → “HEX” の順に切り替わります。

HEX : 16進数カラーコード

10進数の値で表記される RGB 値を、16進数で表記したものです。

RGB

色を、R(赤) / G(緑) / B(青) の“光の三原色”的発色の強さで表現したものです。

それぞれの値は、0～255 の範囲の整数で表記します。値が大きくなるほど“白”に近づき、値が小さくなるほど“黒”に近づきます。

HLS

色を、”色相”(hue)、”彩度”(saturation)、”輝度”(luminance)で表現したものです。HSL、HSIなどとも呼ばれます。

色相は 0～360 の範囲の整数、彩度と輝度は 0～100 の範囲の整数で表記します。

HSV

色を、”色相”(hue)、”彩度”(saturation)、”明度”(value)で表現したものです。HSBなどとも呼ばれます。

色相は 0～360 の範囲の整数、彩度と明度は 0～100 の範囲の整数で表記します。

Name : Web ブラウザに登録されている色の名前

Web ブラウザには、カラーコードを使わず、直接指定できる色の名前が 140 色登録されています。この色名は、主に HTML や JavaScript で使用されます。

「原色大辞典」：<https://www.colordic.org/>

RGB Normal / HLS Normal / HSV Normal

RGB/HLS/HSV は、それぞれ 0～255、0～360、0～100 の範囲の整数で表記されますが、それらをすべて 0.0～1.0 の範囲に“正規化”(Normalize) した値で表記したものです。

◆「コピー」ボタンについて

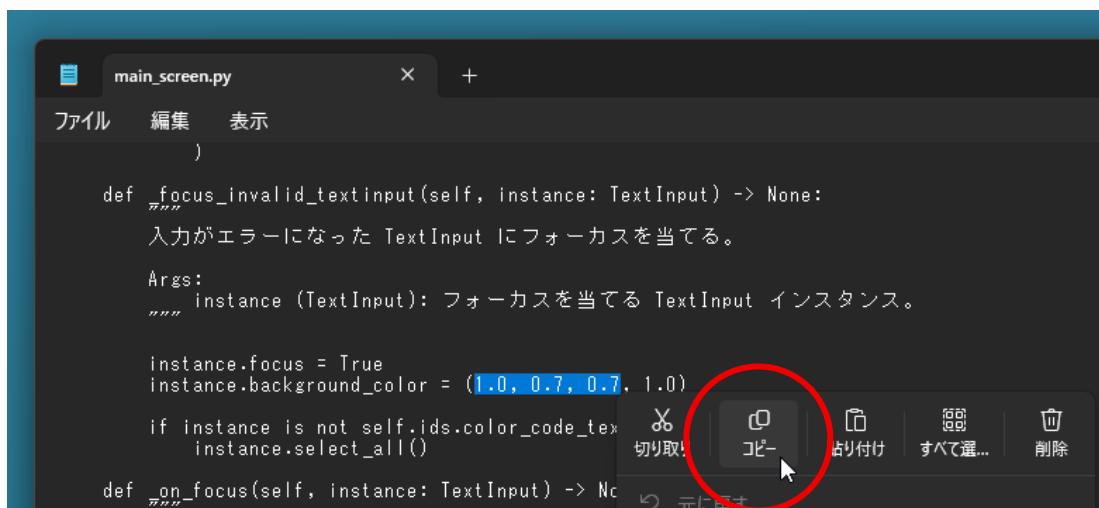
現在、本アプリのカラーコードの表示・入力を行うボックスに表示されているカラーコードをコピーして、別のアプリに貼り付けることができます。

◆「貼り付け」ボタンについて

別のアプリに記述されているカラーコードをコピーして、本アプリのカラーコードの表示・入力を行うボックスに貼り付けることができます。

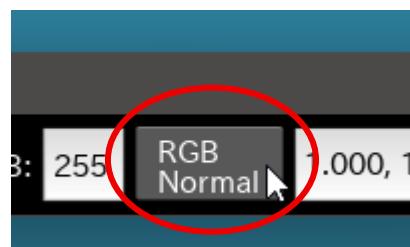
1. 別のアプリの記述されているカラーコードをコピーします。

ここでは、"メモ帳"で開いたPythonのコードから"正規化されたRGB値"をコピーしています。

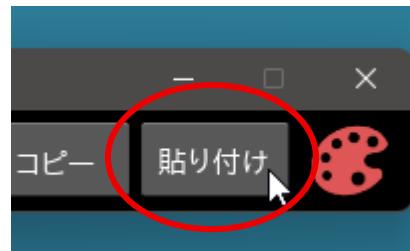


2. 本アプリのカラーフォーマットの切り替えボタンをクリックして、貼り付けたいカラーコードのカラーフォーマットに切り替えます。

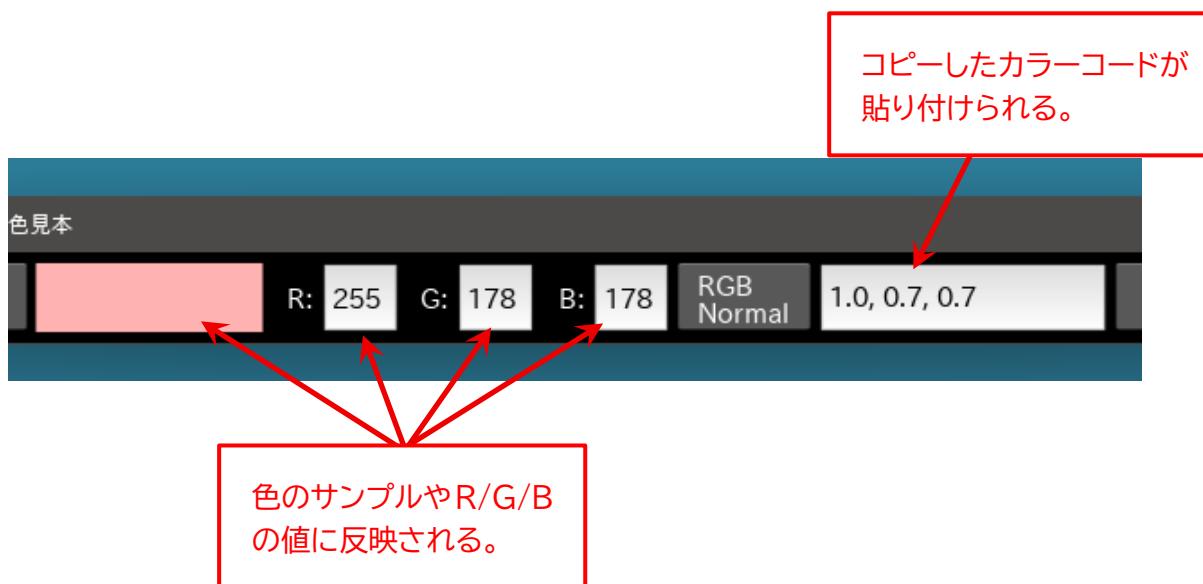
ここでは、貼り付けるのが"正規化されたRGB値"なので、"RGB Normal"に切り替えています。



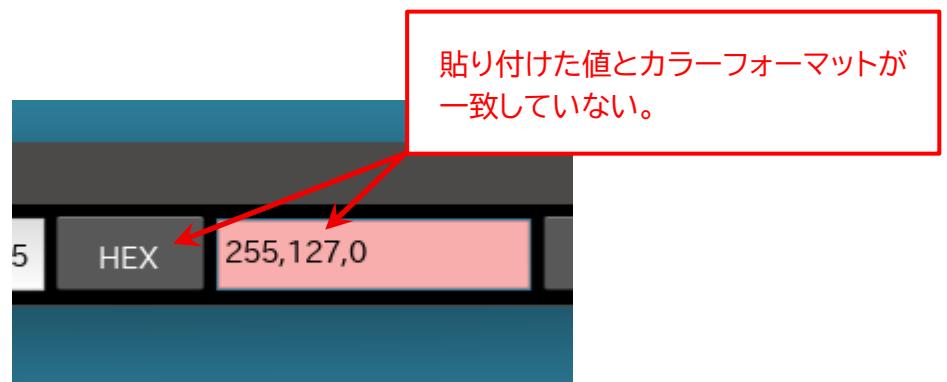
3. 本アプリの「貼り付け」ボタンをクリックします。



4. コピーしたカラーコードが貼り付けられ、色のサンプルや R/G/B の入力ボックスの値に反映されます。



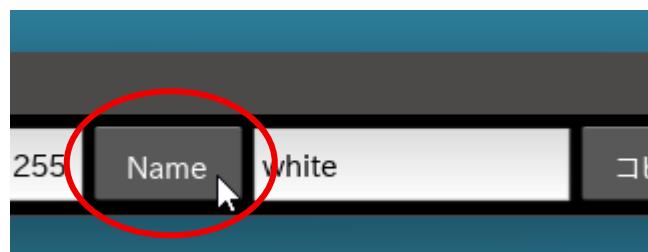
※ 不正な値が貼り付けられたり、貼り付けた値とカラーフォーマットが一致していない場合は、背景が赤く表示されます。



◆カラーコードを直接入力・修正する

本アプリのカラーコードの表示・入力を行うボックスについては、直接カラーコードを入力したり、入力されているカラーコードを直接修正したりできます。

1. カラーフォーマットの切り替えボタンをクリックして、入力または修正したいカラーコードのカラーフォーマットに切り替えます。
ここでは、"Name"（Web ブラウザーに登録されている色名）を選択しています。



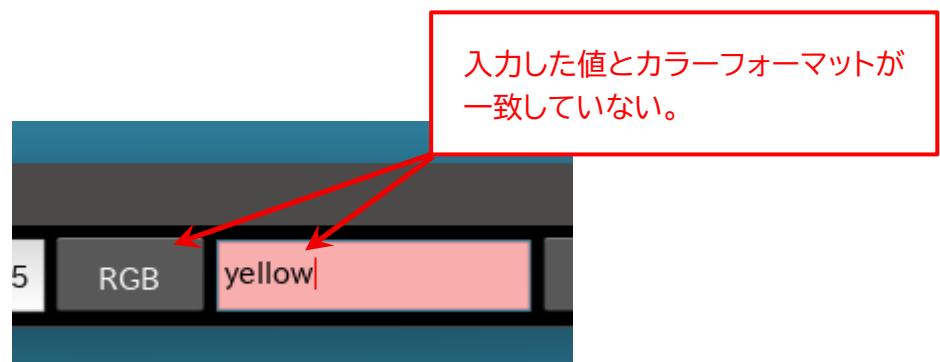
2. カラーコードの表示・入力を行うボックスをクリックして選択し、カラーコードを入力します。
ここでは、Web ブラウザーに登録されている色名の "yellow" を入力しています。
入力された値を確定させるには、「Enter」 / 「Tab」 / 「Shift + Tab」 のいずれかのキーを押すか、マウスで他の入力ボックスをクリックします。



3. 入力したカラーコードを確定させると、色のサンプルや R/G/B の値に反映されます。



※ 不正な値が入力されていたり、入力された値とカラーフォーマットが一致していない場合は、背景が赤く表示されます。



◆「ちょこっと色見本」のライセンスについて

「ちょこっと色見本」(以下、"本ソフトウェア") の著作権は、開発者である 筒井敏文 が保有します。

本ソフトウェアのバイナリファイル、およびソースコードは "MIT License" の下で配布します。

本ソフトウェアのバイナリファイル、およびソースコードの改変や再配布は自由に行うことができます。

ただし、再配布の際には必ず、ソースコードに添付された "LICENSE.TXT" ファイルを配布物にも添付するか、配布物のわかりやすい場所に以下の 3 行を記載してください。

Copyright (c) 2025 toshifumi tsutsui
Released under the MIT license
<https://wpandora8.net/the mit license.html>

著作権者は、本ソフトウェアのバイナリファイル、およびソースコードに起因または関連し、あるいはバイナリファイルおよびソースコードの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとします。

2025 年 12 月 6 日
著作／製作 筒井敏文

デモとサンプルの展示室
～ Demo & Sample Showroom ～



<https://wpandora8.net/>